

ひとりひとりの 気持ちを「チカラ」に

日本赤十字社東京都支部八王子市地区の活動紹介



近年、日本各地で多発している自然災害。
日本赤十字社は、ひとりでも多くの命を救うためにいち早く被災地に入り、
被災者の救援・救護にあたっています。

赤十字は、アンリー・デュナン（スイス人…第一回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社（本社・港区）はその一つであり、明治10年に前身となる博愛社が設立されて以来、国内外における災害救護をはじめとして、苦しむひとを救うために幅広い分野で活動しています。

日本赤十字社東京都支部（新宿区）は、都内の赤十字活動の拠点として、明治20年に設立。昭和28年に八王子市地区の赤十字活動を推進するために、東京都支部八王子市地区事務局が市役所内に置かれました。以来本市では、「八王子市赤十字奉仕団」が中心となり、災害救護活動、救急法などの講習普及、献血事業、社会福祉事業など幅広い活動を展開しています。

本年はアンリー・デュナンがイタリヤ統一戦争で、敵味方の区別なく救護活動にあたってから160年。東京都支部八王子市地区の活動はますます発展し続けます。

赤十字活動を使命とする『八王子市赤十字奉仕団』

すべての人びとのしあわせを願って



▲八木委員長(中央)と天花寺副委員長(左)、田倉副委員長(右)

赤十字奉仕団の活動は多岐にわたります。献血推進や防災活動、青少年の育成など、団員ひとりひとりが、小さな活動を広げています。特に小中学生へは、「自分の命は自分で守る」ことの大切さが伝わるよう、指導を行っています。

住みやすく、助け合える地域づくりをめざした活動を行っています。

八王子市赤十字奉仕団では団員を募集しています。ご関心のある方は、福祉部福祉政策課(☎620・7454)へ。



活動のひろがり



「今、自分達が何気なく過ごしている中でも、苦しい思いをしているひとがいる」

今年1月、片倉台小学校では代表委員会が中心となり、赤十字活動資金の募金活動が行われました。代表委員のメンバーは、この募金活動を始めるにあたって被災地について学び、「被災地の皆さんを助きたい、苦しんでいる人びとがいるという現状を知ってもらいたい」という想いから、「さまざまな支援活動に活用され、より多くのひとの助けとなる」赤十字活動資金への募金を決めました。

募金活動は朝の登校時に実施。朝早くから代表委員が手作りのポスターを掲げ、寄付を呼びかけ、3日間で4万5千542円の募金が集まりました。

市としては、今回関わった皆さんが、この体験が今後も活かされ、より多くのひとを助けたいと想えるひととなること、さらに、こうした活動が市全体に広がっていくことを期待しています。



▲東京都支部長(小池都知事)より感謝状が贈呈された代表委員の皆さん



▲募金をお願いします!



▲総合防災訓練で啓発事業と炊き出しの実演



▲小学校で救急法の指導



赤十字奉仕団とは、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人びとが集まって結成されたボランティア組織です。本市には12の分団があり、「人道・博愛」の精神のもと、地域で積極的に活動しています。

【概要】

- ◆発足 昭和47年10月
- ◆分団 12分団(小門・台町・上野町・元横山・大和田・めじろ台・浅川・万町・旭町・元八王子・片倉台・片倉)
- ◆団員 約220名

【主な活動】

- ◆献血者増員の呼びかけ(街頭献血)
- ◆市内小中学校への救急法等の指導
- ◆各種防災訓練への参加(市総合防災訓練や地域の町会等)
- ◆高齢者施設でのボランティア活動
- ◆いちよまつりでのAED指導等

人びとが支え合う、安全・安心な社会をめざして

「苦しんでいるひとを救う。」という赤十字の理念に共感し、共に活動する人びとを一人でも多く増やして支援の輪を大きくしていきたい。赤十字活動は、市民の皆さんの「善意」「想い」「協力」で支えられています。

「命を救う活動」を支える『赤十字活動資金』



▲被災地の最前線で救護活動を行う

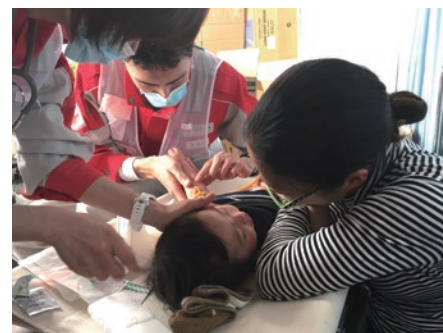
赤十字活動資金は、日本赤十字社が行う被災地での医療救護活動・こころのケア・救護物資の配分活動などの原資となります。また、避難所用テントやポータブルトイレなど災害に備えて各地区に配備される各種資機材、各地区で行われる救急法等の講習や青少年への防災・減災の教育プログラムなどにも役立てられます。

赤十字活動資金には、国や自治体からの補助金等は一切含まれておりません。赤十字の活動は市民の善意による寄付金により支えられています。

本市では毎年、5月の「赤十字運動月間」にあわせ、町会・自治会などを通じて、赤十字活動資金へのご協力を呼びかけています。

昨年は市内で約1000万円の活動資金のご協力をいただきました。本年も市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

赤十字活動資金についての問い合わせは、福祉部福祉政策課(☎620・7454)へ。



▲大切なひとを守りたい



日本赤十字社キャラクターハートラちゃん

被災された方々へ届けられる『義援金』

日本赤十字社がお預かりする義援金は、**全額**が被災された方々に届けられ、被災者の生活復興に欠かせない役割を担っています。

皆さんからお預かりした義援金は、被災県に設置される義援金配分委員会に全額送金され、同委員会が定める配分基準に従って被災された方々へ届けられます。

なお、義援金は被災された方々へ届けられるもので、国や自治体が行う復旧事業や、日本赤十字社の災害救護活動・被災者支援活動などに使われることはありません。(こうした日本赤十字社の命を救う活動には、赤十字活動資金が使われます。)

義援金についての問い合わせは、福祉部福祉政策課(☎620・7454)、または日本赤十字社パートナーシップ推進部(☎03・3437・7081)へ。



▲市役所本庁舎の総合案内所に置かれている義援金の募金箱

義援金名	八王子市でお預かりした額
東日本大震災義援金	351,207,045
平成28年熊本地震災害義援金	32,476,397
平成30年7月豪雨災害義援金	11,518,380
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	1,228,528

平成31年(2019年)3月末日現在
(現在義援金の募金箱は本庁舎のみに設置しております。)

ご協力、ありがとうございます。平成は災害がとて多い時代でした。本市では大きな災害が起こると、被災された方々への支援を目的に、速やかに市民部事務所や市民センターなどに募金箱を設置し、市民の皆さんへ募金の呼び掛けをしてきました。

お預かりした義援金は、日本赤十字社を通して全額が被災された方々へ届けられます。

※日本赤十字社の赤十字活動資金・義援金等へ一定額以上の寄付をした場合は、税制上の優遇措置が受けられます。

命をつなぐ架け橋『血液事業』

令和元年度 市役所での街頭献血の予定

- ◆日程(曜日は全て金曜日)
今年:7月12日、10月4日、
来年:1月10日、3月13日
- ◆場所
市役所南側広場
- ◆受付時間
午前:10時～12時30分
午後:13時45分～16時

なお、市役所以外にも企業・学校などでの団体献血も行っています。ご協力いただける場合は、日本赤十字社東京都赤十字血液センター立川事業所までご連絡ください。

このため、輸血に必要な血液を確保するためには、1日に約1万3千人の方が献血にご協力いただく必要があります。病気で苦しんでいる患者さんの尊い命を守るために、ぜひ八王子市役所における街頭献血に市民の皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために、健康なひとが自らの血液を無償で提供するボランティアです。日本国内では、1日約3千人の患者さんが輸血を受けています。また患者さんの症状によっては、大量の輸血を必要とする場合があります。



▲市役所南側広場に停まる献血バス



献血キャラクター けんけつちゃん

血液事業についての問い合わせは、日本赤十字社東京都赤十字血液センター立川事業所 事業課(☎042・529・0405)へ。

大切な命と健康を守るための『赤十字講習』のご案内

—あなたの大切なひと、守れますか?—



いざというとき、家族や周りにいるひとがすぐに手当を行えば、救命の可能性は高くなります。日本赤十字社東京都支部では、皆さんの日常生活において安全で健康な生活を営めるように、各種講習・セミナーを企画、実施しています。ぜひご利用ください。

こんな内容が学べます!

あなたの大切なひとを **守** るために

苦しんでいるひとを救いたい…
あなたの手で、救える命があります。



「ひとが倒れている!」
近づくその前に
周囲の安全が確認できたら、
大出血の有無などを
確認します



- 1 反応(意識)を確認し、協力者を求める**
- ✦ 肩を軽く叩いて、大きく声をかける
 - ✦ 119番通報
 - ✦ AEDの手配



- 2 呼吸を確認する**
- ✦ 胸とお腹をみて、普段どおりの呼吸があるかを確認する



- 3 胸骨圧迫**
- ✦ 胸骨の下半分(胸の真ん中)を約5cm沈むように強く圧迫する(1分間あたり100～120回の速さ)



- できれば、人工呼吸を2回**
- ✦ 気道を確認する(頭部を後ろに下げて、あご先を上げる)
 - ✦ 鼻をつまんで口をおおい、胸が上がるのわかるまで吹き込む
 - ✦ 1回の吹き込みで約1秒かける
 - ✦ 吹き込んだら、つまんだ手と口を離す
- ※人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す
※人工呼吸ができない場合は、胸骨圧迫のみを継続する



- 4 AEDを使う**
- ✦ 電源を入れる
 - ✦ 音声に従う
 - ✦ 電極パッドをはる
 - ✦ ショックボタンを押す

救急隊に引き継ぐ

赤十字 救急法

赤十字講習の詳細については、日本赤十字社東京都支部 健康安全課(☎03・5273・6746)へ。